

氏 名	メタルコフ マルコフ ミレナ METALKOVA-MARKOVA Milena
学位(専攻分野)	博 士 (学 術)
学 位 記 番 号	博 甲 第 239 号
学位授与の日付	平成 13 年 3 月 26 日
学位授与の要件	学位規則第 4 条第 1 項該当
研究科・専攻	工芸科学研究科 機能科学専攻
学位論文題目	Transformation Patterns of Urban and Dwelling Spatial Characteristics in Mixed Residential/commercial Areas of Historic Cities Cross-cultural study of traditional house and urban space of Kyoto(Japan)and Plovdiv(Bulgaria)from residents' perspective
審 査 委 員	(主査) 教 授 河 邊 聰 教 授 中 野 正 大 教 授 森 田 孝 夫

論 文 内 容 の 要 旨

論文は英文で書かれている。その内容は、日本の京都とブルガリアのプロヴディヴという二つの歴史都市について、旧市街地の居住環境を比較研究したものである。

本論文は 4 章から構成されている。

第 1 章では、研究の基本を考察している。研究の基本概念として、エミック (emics:個別性を成立させるもの) とエティック (etics:普遍性を成立させるもの) の二つを置くことを述べ、研究の対象地区に京都及びプロヴディヴに存在する木造伝統住宅とその地区を取り上げたことを述べている。

第 2 章では、京都の事例として、西陣地区の町家を選んだことを述べ、その空間の特徴と時間経過の中での変化を追って、西陣織生産活動と町家との関係を考察している。

第 3 章では、ブルガリアの都市プロヴディヴの事例として、スタリアグラッドの伝統的木造を選んだことを述べ、街の概要を説明するとともに、空間の特徴を調べ、歴史的にどう変容してきたかを調べている。

第 4 章では、京都の西陣地区とプロヴディヴのスタリアグラッド両地域に対して、住民へのアンケート調査を実施し、それを比較分析することによって、現状と将来への住民意識を考察している。

論 文 審 査 の 結 果 の 要 旨

歴史的地域の住環境の整備は、住民の意思を尊重して行うべきであると、論者は主張する。なぜなら居住環境に対する生活者すなわちその地に居住している人の思いと、その地区を計画しようとしている専門家の思いとには、基本的な違いがあるにもかかわらず、現状は専門家主導で計画が進められる場合が多いからであるとする。居住者は地域を日常的生活の場として考え、歴史的環境という認識以前に生活の場所としての思いが先行すること、この事によって人の活動、コミュニティが保全継承されている。一方計画専門者は、保存・保全すべき対象を明確にし、定められた目標がどうすれば実現できるかを計画し、これによって歴史的遺構が保存できている。この二つの立場の違いを明確にし、歴史的地域の整備は、両方の考えを理解した上で、両者を共に満足させる考えに立って整備事業を行うことが大切であるとする。この事によって初めて歴史的環境地区に人の日常生活を入れることが出来るから、その地区の接続的な再生

が可能になると結論づけている。現在歴史的地域の接続的再生の手法が求められている。本研究は具体的地区を事例として、接続的再生に必要な基本的考え方を提示した。世界に多くある歴史的地域の再生のための具体的方法を作る上で、重要な示唆を与えるものと評価できる。

本論文にかかわる公表学術論文は、5編ある。いずれも審査制度のある論文集であり、単著1編、筆頭著者のもの4編である。

○Milena Metalkova-Markova, Hiroshi Zaino, 「Study of Dwelling Spatial Continuity Patterns within Traditional Urban Blocks in Kyoto — Machiya block design potential according to the evaluation of its inhabitants —」(京都の伝統的な町家街区における居住空間構成の継承の研究—住民の町家評価による街区デザインの可能性の検討—)、「都市計画」、日本都市計画学会、229号、2001年、pp.77 - 86

○Milena Metalkova-Markova, 「Tradition as you like it : Residents' Transformations of Traditional Dwellings in Kyoto (Japan) and Plovdiv (Pulgaria)」, IASTE (International Association for the Study of Traditional Envrionrnents, University of California, Berkeley), Traditional Dwelling and Settlements Wor'ring Paper Series, vol.132, 2000, pp.1-36

○メタルコワ・マルコワ ミレナ、材野博司、「ブルガリア、プロヴディヴにおける伝統的住宅地域の都市環境的特徴とその変容傾向に関する研究」、日本建築学会計画系論文集、第537号、pp.187-193、2000年11月

○Milena Metalkova-Markova, Hiroshi Zaino, 「Environmental Design Concerns for Housing Renewal in Urban Hisoric Zones—Machiya Design Potential in the Views of Its Inhabitants: Kyoto-Nishijin」, Bullentin of 4th Asian Design Conferonce, International Symposium on Design Science, Nagaoka:Japanese Society for the Science of Design, CD-Rom D-07, 1999

○Milena Metalkova-Markova, and Hiroshi Zaino, 「SUSTAINABLE RENEWAL CONCERNS FOR DETACHED HOUSING IN URBAN VERNACULAR AREAS—DESIGN POTENTIAL OF KYOTO TRADITIONAL TOWNHOUSES」, Proceedings of the International Seminar on Vernacular Settlement, University of Indonesia, pp.221-235, 1999